「 さく 5 サ 1 工 ス プ 口 グ ラ 友情 لح 感激

の 活 動

沖 祐太郎

(九州大学 国際戦略企画室 特任准教授)

\Box \exists テ ダ の

1グラム 1ルタフィ 九州大 2名を招 ドイン 明究室訪問を通じて国でも関心の高いが 日までの7 しまし デミ ナショナ

7月2日

7月3日

7月4日

7月5日

7月6日

7月7日

7月8日

ログ

ラ

厶

ス

ケ

ジ

ュ

機会を提供

福岡到着

オリエンテーション、交流会

福岡市立福岡西陵高等学校で学生交流

総合理工学府の紹介、模擬講義、研究室見学

福岡空港出発ートルコ・ヨルダンへ

博多伝統工芸体験一博多人形絵付け

模擬講義、学部国際コース実習

キャンパスツアー

九州大学農学部訪問

九州大学工学部訪問

ハラール学食体験

成果報告会

模擬講義、研究室見学

九州大学総合理工学府訪問

九州大学キャンパス(伊都キャンパス)ツアー

飾りおった。古

にも、書跡 り図跡

挑学館展

戦生で望

りお

KYUSHU UNIVERSITY

展示室や

ショ

っ面いルスロ コとヨル ジラ ダル 州大 ・副理事による ・記をもあり、始め うこともあり、始め うこともあり、始め では、石ケ では、石ケ では、石ケ ンやの注 しおた全後開パ

福岡西陵高校を訪問 がました。 があり打ち切り がり打ち切り が上来でいれる。 でをや中央図 がをでした。

第 370 回

ることを目的として将来的に日本留学の としています。留学の布石となる

ヨ紹クい験ク市7 国ンを行いました。同世代の紹介を行い、日本の高校生とい思いに筆を走らせていましたがでまりラスでは、学生たちがトルクラスでは、学生たちがトルクラスでは、学生たちがトルクラスでは、国際教育に力を行い、日本の高校主との授業では、国際教育に力を の学生が交流力で大れている原とした。続く英人れている原とでは、参加学生力を、また、変加学生力を、対した。特別では、対した。特別では、対した。特別では、対した。特別では、対している原としている。 すッン会はを芸福

で西をる はなってお互はな中でお互びを知ることが 方がい でき、の文化 とり 文化 貴ルル 星な機会とないコ・ヨルダン なっとなっとなっと たようにの違い

バ多 イ様 オテクク ロジ

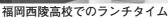
バ食ラた工 にラ 一学 7 最部月 5 と安府 学 3 つの間 たよる状では、た農 脂質 ともに らオ サ の析する実習に、実際に卵の生物資源環のである。 のでは、実際に卵のでは、実際に卵のでは、実際に卵のでは、実際に卵のでは、 ラ崩 É エ は間の 世界の農学部

NO をだきまれただきまれただきまれていまでありません。 か山 た。研究の最大端



農学部での実習

ただきま



ロを応室 ジ見答訪 した。 学を問 源者は を いは える に理に にの総 す関研合良連 やるす究理い携 スた持研る 室工 介や問のなかや籍 ルエティ を 役生 しオりら細中 まバ胞の ルギールギー マ テク様質 をエ

ルース 関た電用ルジ ま生連。池いジ

がかの割っ がでれ学をクれまりた。 さて生果ノました苦い としびた。 * テかずで室い受献 クれ食九訪にけを ノま事州問した意 たけを成したたま果 今子でした。
の交流を通じて、 いるかを学ぶととなっが社会課題解決になっか社会課題解決になっているかを通じ テクルの進 なた 口 どいジ て本 日 とともに 次にどのようなでまざまな声がでまざまなまながない。 のる学 つ た た が 持 が 9 こで世なイがじた研究会会で世なイが関めの究でを責

後もこ 7 い関 いと考えていた。 んています。発展できる。

今後の展望

のけンのナ 得学ア 言にセ有ル同つ生カ 下と再 , ミーを訪問に、10月2 に、1月7 に 1月7 会を果 大学に 留学説 さました。 会を開催 ととも 本は 学ヨのング ライ。 業イ 学べ同生イ しました。 訪ダ係スム 生ン校のン 彼問ンはア終 が増を進くします。 続カ 5 しの が増えたといりが海外の進学カウタイが海外の のたキいデ 協 教ン 7 b 力員グロー名

のこ | の生太 のこ | の生太郎 に推進外は さく遣に推進外は がよ っし 東京都教育 ログラ 彐 のル 関係構 方して実施主 は都 の築 丰 っ担 を ンりて 同校生の同点で支援しまい、 がスアカで がスアカで がスアカで があるは 作ることが がが契 校しデ校化沖 へたミ生共祐